

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 193

2006年

11 ~ 12月号

行 事 案 内

第6回 ジャパンバードフェスティバル

今年も我孫子市でジャパンバードフェスティバル(JBF)が開催されます。

期 日 11月3日(金)、4日(土)
午前9時30分より

会 場 親水広場、手賀沼公園
案 内

当会の展示内容については以下のようになります。なお、当会のブース出展は手賀沼公園です。

手賀沼公園会場：パネル展示、紙芝居、庭に鳥を呼ぶ、エサ台の販売

親水広場会場：噴水前定点バードウォッチング、船上バードウォッチング

また、学生、NPO団体、光学器械関係も会場は手賀沼公園の予定です。他のイベントについては、広報あびこの10月16日号もしくは11月1日号をご覧ください。

担 当 幹事全員と会員
皆様のご協力をお願いします。

11月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 11月12日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 手賀沼の水鳥の季節です、冬鳥達もそろっています。じっくりと観察を楽しみましょう。

解 散 正午頃
担 当 飯島、北原、桑森、小林(寿)、佐々木、野口(紀)、松田

12月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 12月10日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 今年最後の手賀沼探鳥会です。手賀沼の水鳥も勢ぞろいし、賑やかになっているでしょう。上空のワシタカや田圃のタゲリやタヒバリにも期待できます。多くの冬鳥と出会い、そして来年の鳥果を願い、一年を締めくりたいと思います。

解 散 正午頃
担 当 桑森、飯島、北原、小林(寿)、佐々木、野口(紀)、松田

渡良瀬遊水地探鳥会

期 日 11月26日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時
案 内 初冬のアシ原は鳥達で賑わう季節。チュウヒ、チョウゲンボウ、コミミズク等々。広大なアシ原が広がる渡良瀬遊水地でじっくりと猛禽類を観察しましょう。谷中湖にはカモ達も多数飛来していることでしょう。
持 物 観察用具、昼食(途中購入可)
交 通 自家用車分乗です。一人1,500円を運転者にお渡しください。申し込みの際、自家用車提供可能な方はその旨ご連絡ください。
申 込 猪爪敏夫まで

Tel/Fax 04-7186-5075

担当 猪爪、中野、田丸

我孫子市我孫子1780-32

Tel/Fax 04-7182-8307

担当 松田、田丸

酒沼探鳥会

期日 12月30日(土) 雨天中止
集合 我孫子駅北口 午前8時
持参 観察用具、弁当・飲物(途中購入可) 雨具

案内 今年最後の探鳥会です。暮れのなかと忙しい時ではありますが、冬の酒沼は手賀沼とはちょっと違う冬鳥の世界を垣間見ることが出来ます。今年のラスト探鳥会にいかがでしょうか。また探鳥もさることながら、地元名産の酒沼しじみのおみやげにも期待がかかる探鳥会でもあります。

交通 自家用車分乗です。一人2,000円を運転者にお渡し下さい。申込の際、自家用車提供可能な方はその旨をご連絡下さい。

申込 飯島 博まで 12月10日締切
〒270-1141 我孫子市栄25-9
Tel 04-7185-8610

担当 飯島、田丸

銚子・波崎探鳥会

期日 1月3日(水) 雨天中止
集合 我孫子駅北口 午前8時
持参 観察用具、雨具、防寒具、昼食(途中購入可能)

案内 海鳥、ワシ・タカ等、例年50種以上が記録されている変化に富んだ探鳥会です。現地の状況により最終の立ち寄り場所が変わります。

交通 自家用車分乗です。便乗者は一人1,500円を運転者にお渡し下さい。申込の際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。

申込 松田幸保まで
〒270-1166

芋煮会

今年も楽しい芋煮会で今年の行事の締めくくりとします。五本松公園にお集まりください。全員で担当しますので多数の参加を御願い致します。ご家族の方の参加も大歓迎です。

期日 12月17日(日) 雨天中止
集合 午前10時
会場 五本松公園キャンプ場
参加費 大人1,000円、中学生以下800円
持参 汁椀、箸、おにぎりなど、酒類持込歓迎

担当 全幹事
申込 北原建郎まで 12月10日締切
〒270-1166
我孫子市我孫子3-36-1-901
Tel 04-7183-4683

第16回手賀沼ふれあい清掃

手賀沼ふれあい清掃に参加しましょう!

期日 12月3日(日)
荒天の場合12月10日(日)
集合場所 手賀沼公園多目的広場8時45分
清掃開始 9時「ふるさとコース」(手賀沼公園～根戸新田)

じゃんけん大会 11時
閉会挨拶 11時15分
参加記念品の配布(当会で手伝い)

解散 11時30分

担当 事務局

持参するもの 軍手、火バサミ等

*実施、中止のお知らせ 8:00よりテレホンガイドで(0180-99-3173)

詳しくは11月16日付けの「広報あびこ」をご覧ください。

長寿大学探鳥会

長寿大学 2 年生の探鳥会指導の依頼があります。要領は下記の通りですが、協力をおねがいします。

日時 12月19日(水) 10:00~11:50
 集合 アビスタ 第1会議室 9:45
 参加者 長寿大学 2 年生 8グループ 47名 (大部分 65 才以上の方)
 内容 冬の手賀沼の水鳥や周囲の野鳥を観察して、手賀沼と鳥の関係や周囲

の環境について理解してもらう。手賀沼公園付近より遊歩道を通って手賀沼大橋脇の漁業協同組合前までバードウォッチングを行ないます。

連絡 染谷迪夫まで
 Tel/Fax 04-7182-3972

* 2グループ1組として4組構成を考えていますので、最低4人は必要です。もっと多ければより細かい指導ができます。なるべく多くの方の協力を御願い致します。

行 事 報 告

8月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2006年8月13日 9:00~12:00
 薄曇・風弱 気温 28

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ヨシゴイ、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、トビ、キジ、クイナ、コチドリ、ムナグロ、タカブシギ、キアシシギ、オオジシギ、カモメ SP、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 34 種

<探鳥班> 堀口勝、間野吉幸、西巻実、類地佑子、染谷迪夫、谷山晴男、川田光男、佐々木隆、諏訪哲夫、大久保陸夫、武藤康之、常盤孝義、川村美智子、川村美恵子、松本勝英、松本幸子、山田哲生、石渡成紀、田丸喜昭、松田幸保、片桐邦夫、中野久夫、桑森亮、田村三雄、田村祥吾、田村真也、猪爪敏夫、玉井修一郎、木村稔、鈴木静治、田中功、小池勉、小池有佳、橋本清 (担当) 北原建郎
 参加者 35 名

<カウント班> 飯泉仁、飯泉久美子
 調査日時 2006年8月13日 9:10~11:55

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	15	8	23
カワウ	15	47	62
ヨシゴイ	0	1	1
ゴイサギ	0	1	1
ダイサギ	3	2	5
チュウサギ	1	3	4
アオサギ	2	7	9
コブハクチョウ	12	3	15
カルガモ	6	0	6
オオバン	0	1	1
ウグイス	1	0	1
合計	55	73	128

9月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 9月10日(日) 9:00~11:30
 曇、気温 31

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、オオバン、コチドリ、キョウジョシギ、チュウシャクシギ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、セッカ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、 計 27 種

<探鳥班> 諏訪哲夫、鈴木静治、猪爪敏夫、

北原建郎、西巻実、間野吉幸、大久保陸夫、桑森亮、田丸喜昭、田丸メリールイス、武藤康之、村瀬和則、太田暁子、常盤孝義、六角昭男、松本勝英、松本葉子、川村美智子、川村美恵子、杉原紘輝、杉原泰子、西嶋昭生、西嶋みどり、植田啓介、玉井修一郎、岩田孝之、染谷迪夫、浜野さと子、間野吉幸、谷沢幸次、木村稔、小池勉、川田光男、榎本右、田中功（担当）佐々木隆 参加者 36 名

<カウント班> 飯泉仁、飯泉久美子
調査日時 2006年9月10日 9:10~11:50

調査種	上沼	下沼	合計
カツアリ	9	5	14
カワ	30	41	71
ヨゴイ	0	1	1
ゴウギ	1	0	1
アマギ	0	1	1
ダウギ	2	5	7
チュウギ	0	2	2
コギ	9	4	13
アオギ	7	7	14
コバチヨウ	6	4	10
カルガモ	39	33	72
コガモ	0	2	2
ハン	3	0	3
オバハン	1	2	3
ハマヅク	0	1	1
イツク	0	1	1
合計	107	109	216

多摩川河口探鳥会

8月27日

アカアシシギ、ツバメチドリ、メダイチドリ、メリケンキアシシギに出会え感激

鈴木静治

昨年の葛西臨海公園、東京港野鳥公園の探鳥会以来シギ・チドリは観察していないので、一度復習したいことと、多摩川河口の探鳥会は未参加でありどのような所か知りたかったので連日暑さは続いているが今回の探鳥会に参加した。

しかし、参加者の心がけが良い人が多いせ

いか、当日は朝から曇りがちで、今までのような暑さはなかった。8:00a.m.に我孫子駅改札口に参加者の男性12名が集合し、8:04a.m.の上野行きに乗る。上野駅構内でお弁当・夏には必需品の飲み物を買ひ、品川駅から京浜急行で京急川崎駅を經由し川崎大師駅、鈴木町駅を通り、小島新田駅に9:45a.m.到着。ここから多摩川の堤防まで歩き、10:00a.m.頃探鳥地へ到着。東京からの女性2名も到着し、総勢14名になる。

堤防を歩いていくと、多摩川の中洲にカワウ、カルガモ、ダイサギの他に、ソリハシギ、コチドリ、シロチドリ等の中に胸の橙色の映えるメダイチドリが見える。今までメダイチドリは観察する機会がなかったのでこれが第1の感激。堤防をはさんで多摩川の反対側に、広大な工場跡地で更地のなかに相当広く、あまり深くない水溜りといった池が出来ている。柵で入れないようにしているが、木のない部分より観ると、セイタカシギ、キアシシギ、頭の黒いコリカモメ、メダイチドリ等が見えた。間野さんと私が見ていると、脚の赤いシギがいることを他の探鳥グループの人が教えてくれた。昼食後よくよく観ると、嘴・脚が赤いアカアシシギを見ることが出来た。これが第2の感激。

さらに、この池の岸辺の砂利の中にツバメチドリがいるという。皆さんがスコップで観ている方を私の双眼鏡で見てもさっぱり判らない。このツバメチドリはA探鳥グループが見つけた、次のB探鳥グループに教え、更にB探鳥グループが我々に教えてくれたものだという。見つけたA探鳥グループはどのようにして見つけたのか？、恐らく他の鳥を観察しているうちに違うツバメチドリに気がついたか、あるいは飛んできたツバメチドリが降りるのを見つけたのか、日常観察しているA探鳥グループの1人がここにツバメチドリがいることを知っていた等、色々楽しい想像が出来る。昼食後スコップでとらえたツバメチドリの姿を観せてもらって、第3の感激。

アカアシシギが飛び立った後、池の叢にタシギが現れ、これまた、格好の観察・撮影対象となる。アカアシシギ、タシギからモデル料の請求が当会にこなければ良いが...

春の銚子カモメ探鳥会でのカモメの区別

方法を復習しながらカモメ、セグロカモメ、コリカモメを観、ダイサギ、チュウサギおよび大群で飛ぶカワウを観ながらの帰り道、第4の感激：キアシシギよりメリケンキアシシギと思われる鳥を佐々木さん・桑森さん・中野さんが見つけたが、西巻さんに観てもらおうと呼びに言った間に飛び立ったり、カワウが色々な格好を、遠く逆光のためハヤブサと間違えたり、と色々なハプニングがありなかなか楽しい探鳥会でした。

1:30 p.m.多摩川堤防脇の木陰で鳥合わせを行い、4:00p.m.頃無事、我孫子駅に到着した。

今回の探鳥会では、チドリ・シギを観、私の予想外の初秋に帰ってきたカモメが見られたこと、本命のチドリでは珍しいツバメチドリ、シギでは珍しいアカアシシギ、メリケンキアシシギ？、更にタシギも我々の眼を楽しませてくれた事より、参加者として、今回の企画をされた幹事の方々（佐々木さん・中野さん）、参加者の方々および珍しい鳥を教えて頂いた他の探鳥グループの方々、また登場頂いた下記34種の鳥さん達及び、このような鳥の生息環境が残っていることに感謝したいと思います。有難うございました。

なお、今回の感想文は往路の上野駅で幹事の佐々木さんより感想文を書いてくださいとの依頼があった時、この前の1回目の感想文は2004年6月八千穂高原探鳥会で、今回は2度目で約2年経っていることを思い出しました。先回は小中学校以来、40年ぶりに感想文を書いたので、なかなか筆が運ばず困りましたが、今回は皆様のおかげで、色々経験でき、知識も増え、比較的楽に書く事が出来ました。再度感謝。

【担当幹事報告】

日時 8月27日(日) 10:00~13:45

曇りのち晴れ、気温：28 位

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ササゴイ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、コチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、キョウジョシギ、トウネン、アカアシシギ、アオアシシギ、キアシシギ、イソシギ、ソリハシシギ、タシギ、セイタカシギ、ツバメチドリ、コリカモメ、オオセグロカモメ、ウミネコ、アジサシ、コアジサシ、キジバト、ツバメ、ハクセキレイ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガ

ラス 計34種

<参加者> 諏訪哲夫、鈴木静治、吉田隆行、北原建郎、西巻実、間野吉幸、大久保陸夫、桑森亮、川上貢、石渡成紀、小林秀美、柴本法子（担当幹事）佐々木隆、中野久夫
計14名

9月幹事会報告

事務局（染谷迪夫）

日時 9月10日(日) 13:30~16:30
場所 我孫子市民会館 第4,5会議室
議題

1. JBFの行事と担当の確認について
2. 会報193号の記載記事について
3. 報告事項(含検討事項)

JBF実行委員会経過報告

手賀沼流域フォーラム実行委員会報告

手賀沼親水広場「水の館」における鳥類に関するてんじについて

市民活動フェアINあびこ2007参加について

市民活動ステーションについて

手賀沼文化拠点整備計画(仮称)について

「仲間がまた一つ」

柴田五郎

図書館には毎日行くが、そのときは必ず公園の沼辺を回る。仲間がいるからである。それはアヒル君。白いアヒルである。いつ頃からだろうか、僕は動物が大好き、蛇を除けば何でもいい。特にワン君、ニャン公。ワン君用にいつもビスケットを携帯する。以前は「シガースティック」だったが、ダイエーの後退と共に扱わなくなり、代わりに今はイトーヨーカドーの「ゴマスティック」。アヒル君は僕を見ると水から出て道まで上がってくる。それでビスケットをやる。なんとも可愛い、随分食う。波止場が飼い主と思い、店に寄って聞いたらそうではなく、捨てられたものと聞いて益々可哀想になった。アヒルは野鳥ならぬ養鳥というべきか。

金御岳 サシバの渡り

小玉 文夫

今年こそサシバの渡りを見たいと、10月5日から10日の6日間宮崎に帰った。昨年は宮崎市内からサシバの渡りのポイント金御岳へ（都城市）3日間通ったが天候に恵まれずサシバの群れには出会うことが出来なかった。金御岳でのサシバの渡りのピークは10月10日はさんだ1週間だという。金御岳は宮崎県都城市の南部に位置し鹿児島県との県境に近い。472mの頂上からは360度の眺望はすばらしい。都城盆地を真下に見下ろし、北西に高千穂峰が裾野を広げ、南には桜島を望む。宮崎市内から車で1時間30分の距離だ。

金御岳を通過するサシバは、伊良湖岬、紀伊半島、四国から宮崎県北部に上陸し、金御岳を通過して佐多岬へ向かうのだそうだ。金御岳はまさに渡りのルート真下に位置している。2001年には12,351羽、2002年21,204羽、2003年9,945羽、2004年17,877羽、2005年18,412羽がカウントされている。

6日早朝まだ暗いうち、金御岳へと向かった。7時前に金御岳到着。昨年お世話になったカウントをされているNさん、Mさんに「今年も来ましたか」と声をかけていただいた。毎年この時期には1ヶ月以上に亘ってサシバの渡りの数のカウントが夜明けと同時に夕方まで行なわれている。一部の人は車に寝起きしながら続けているという。

カウント班の間では既に、「モジャモジャの上空 羽、トンシャの11時の方向から羽、いや、どんどん増えていてこちらに向かってくる」などと声が飛び交っている。早速、アンテナ、デルタ、ピョウブ、テッペンなど、サシバが飛んでくる周辺の方角を示す地名（符丁？）を教えてください。サシバが来たといわれ、その方向へ双眼鏡を向けるとサシバの群れがこちらに向かってくるのがわかる。見る見るうちに目の前に迫ってくる。近づいてきたサシバの群れがぐるぐると旋回を始めた。上昇気流を見つけて次第に高度を稼いで高く舞い上がっていく。ある高さになると流れるように南の方角へ飛んでいった。また、金御岳の東側のすぐ目の前を、また、西側をはるか高い高度で南へ渡っていく。高千穂峰の山腹をバックにサシバの流れが美しい。カウント班は1羽も逃すまいと、目視で、双眼鏡で、遠くの群れはプロミナーでカウントである。話しかけることもためられる。大忙しである。

8日には日本野鳥の会宮崎県支部による金御岳探鳥会が行なわれ、大勢の人たちからサシバの渡りに歓声が上がった。子供達も多く参加し、クイズも行なわれていた。

9日の朝は寝坊をした。それでも8時には金御岳に到着した。話によると、今朝7時半ごろ、600羽前後のサシバが上空を流れていったという。寝坊した事を悔やんだが後の祭りである。これまで、上空を川の流れるように数千羽のサシバの群れが観測されたこともあるという。気を取り直して、周辺の杉のこずえを見回すと、いるいる、杉やヒノキのテッペンに多数のサシバが点々という。ここから見えないが下の谷にも多数のサシバが羽を休めているはずだという。昨日の夕方到着した群れだとのこと。まもなく動き出し、タカ柱が見れると教えられわくわくして待っていた。暫くすると、数ヶ所でサシバが旋回を始めたいずれも数十羽の群れである。まるで、谷底から湧いてくるようだ。タカ柱を目の前で見ることができた。興奮して夢中でビデオカメラを回した。初めてみるタカ柱だった。

10日は夕方の飛行機で帰る日であった。この日も朝暗いうち宮崎を出発し、昼ごろまで金御岳でサシバの渡りを見ていた。今年は、昨年と違い天候にも恵まれ、滞在中の5日間で8,200羽がカウントされたという。カウントされた全てのサシバを見たわけではないが、かなりの数のサシバを身近に見ることができた。私にとって、興奮の5日間であった。朝まだ暗いうち、宮崎から金御岳に向かう途中の早朝十五夜の残り月を眺めて走ったり、周りに人家もない真っ暗な広い畑の農道でガス欠になりそうで冷や汗を流したり、思い出の5日間でもあっ

た。

今年は、10月18日にカウントを終了したと中郷商工会のHPで知った。9月19日から10月18日までの間のカウント累計数は16,350羽とHPに記録されている。サシバの他、ミサゴ、ハチクマ、トビ、オオタカ、アカハラダカ、ツミ、ハイタカ、ノスリ、クマタカ、ハヤブサ、チゴハヤブサ、チョウゲンボウ等々記録されている。この間の毎日のカウント数に興味のある方は中郷商工会HPをご覧ください。一ヶ月に亘り早朝から夕方までカウントを続けられた皆さんご苦労さまでした。

参考：野鳥だより みやざき No197 日本野鳥の会宮崎県支部

中郷商工会 URL (<http://www.miya-shoko.or.jp/nakago/>)

鳥 だ よ り

- | | |
|---|---|
| 07.21 [柳戸] 材効(1)枯れ木上に
志賀鉄雄 | 大久保陸夫・北原建郎 |
| 07.23 [曙橋] 材効(1)休耕田の畦杭で物色
桑森亮 | 08.13 [高野山] サバ(1)成鳥一羽、枯れ松
に止まる 笹川昭雄 |
| 07.23 [北新田] カッコウ(1)河川敷で鳴き声
中野久夫 | 08.14 [北新田] イソギ(5)4号排水路で
中野久夫 |
| 07.23 [北新田] ヒ(1)物色飛翔 中野久夫 | 08.18 [曙橋] トビ(1)農道で羽を広げて横
たわっていた 桑森亮 |
| 07.23 [柳戸] 朴トリス(1)囀り鳴きながら飛
ぶ 志賀鉄雄 | 08.24 [北新田] 材効(1)幼鳥、杉を追う
中野久夫 |
| 07.26 [北新田] カシギ(3)越流堤池から飛
立ち 中野久夫 | 08.24 [北新田] オジギ(1)休耕田から飛
立ち 中野久夫 |
| 07.27 [つくし野] 朴トリス(1)早朝 4:30 頃
上空で鳴き声 中野久夫 | 08.25 [曙橋] ヒバリギ(1)採餌 中西榮子 |
| 07.28 [手賀川] イソギ(1)岸边に 志賀鉄雄 | 08.27 [東中新宿] イソトドリ(1)10:24 ~
10:40 頃、隣の家のテレビアンテナに止ま
って囀っていた 飯泉仁・久美子 |
| 07.29 [東中新宿] ツミ(2)8:00、自宅上空を
鳴きながら中原ふれあい防災公園方向に
通過していった 飯泉仁・久美子 | 08.27 [布施あけぼの山] イゾギ(2)鳴き
ながら桜の木の枝を移動
飯泉仁・久美子 |
| 07.29 [曙橋] イソギ(1)休耕田 桑森亮 | 08.27 [布施あけぼの山] ヤマガラ(2)鳴き
ながら桜の木の枝を移動
飯泉仁・久美子 |
| 07.29 [曙橋] コトドリ(15)休耕田 桑森亮 | 08.27 [布施あけぼの山] サバ(1)カラスを
追いかけて北方向から出現し東方向に通
過 飯泉仁・久美子 |
| 07.30 [片山新田先手賀沼] コジギ(5)沼の
水面の上を飛んでいた 飯泉仁・久美子 | 08.28 [東中新宿] コウゲンボウ(1)13:30 す
ぎ上空を巡回した 飯泉久美子 |
| 07.30 [片山] 材効(1)枯木に止まっていた
桑森亮 | 09.01 [我孫子] ヤマガラ(1)電中研斜面林で
鳴いていた 中野久夫 |
| 08.01 [手賀沼] イソギ(2)下沼 岸边に
志賀鉄雄 | 09.03 [北新田] コトドリ(2)越流堤池から飛
立ち 中野久夫 |
| 08.01 [手賀沼] コジギ(5)下沼 飛翔
志賀鉄雄 | 09.04 [北新田] コウゲンボウ(1)電柱から飛
び去った 中野久夫 |
| 08.10 [曙橋] イソギ(1)田圃採餌
大久保陸夫・北原建郎 | |
| 08.10 [曙橋] ヤソギ(3)田圃採餌
大久保陸夫・北原建郎 | |
| 08.12 [曙橋] オジギ(3)田圃採餌 | |

09.05 [布施あけぼの山] コサビ 舛(1)木で
休息 中西榮子

09.05 [北新田] ハブサ(1)杭上
中野久夫・金成典知

09.06 [北新田] コサビ(2)2号排水路で
中野久夫

09.07 [つくしが丘] サビ(2)13:00頃、ス
ーパーベルクス上空を巡回し、時折鳴いて
いた 飯泉久美子

09.09 [上沼田] マズ(1)フェンスの上で高
鳴き 大久保陸夫

09.10 [手賀沼] フウキ(2)下沼
飯泉仁・久美子

09.10 [泉入口] サビ(1)上空をルボソガヌ
に追尾されて巡回していた 飯泉仁・久美子

09.10 [染井入落] ツバ(1)干潟状の場所
で休息・時折採餌行動をしていた 飯泉仁・久美子

09.10 [片山新田] サビ(2)上空を巡回
飯泉仁・久美子

09.12 [北新田] フウキ(100)稲刈り田で
中野久夫

09.15 [布施あけぼの山] イビツ(1)樹上、
樹間移動 桑森亮

09.16 [北新田] ノリ(1)杭上
中野久夫・金成典知

09.17 [東我孫子] ヤマガ(3)樹上、樹間移動
桑森亮・染谷迪夫他

09.18 [曙橋] フウキ(1)採餌 中西榮子

09.20 [手賀沼] コトリ(2)染井入り新田先
中州で 中野久夫

今回の観察者の総投稿件数

飯泉久美子 6
飯泉仁・久美子 137
飯泉仁 45
大久保陸夫・北原建郎 4

大久保陸夫・桑森亮 1
大久保陸夫 8
桑森亮・染谷迪夫 2
桑森亮 20
笹川昭夫 2
志賀鉄雄 30
中西榮子 11
中野久夫・金成典知 11
中野久夫 29
西巻実 2
総計 308

紙面の都合上、皆様から寄せられた鳥便りの一部を掲載させていただきました。なおご報告いただいた鳥便りは全てデータベースとして収録させていただきました。
(諏訪哲夫)

11月幹事会開催

日 時 11月12日(日) 13:30~16:30
場 所 アピスタ 1F 工作工芸室
議 題

1. 芋煮会 実施体制、作業分担など
2. 会報194号掲載記事について
3. 報告事項
4. その他 その他議題あれば事務局へ
(事務局 染谷迪夫)

投稿のお願い

会員の皆さんからの探鳥記、楽しい話題、スケッチ、写真等の投稿をお待ちしています。
投稿先 小玉文夫まで
270-1144 我孫子市東我孫子1-28-8
Fax 04-7139-8260

我孫子野鳥を守る会 会報 No193 2006年(11~12月号)

発行 2006年11月1日
発行人 間野吉幸 我孫子野鳥を守る会 会長
編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、宮下三禮
事務局 染谷迪夫 〒270-1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel 04-7182-3972
振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会
会費 年会費 2,000円(大学生・高校生 1,000円、中学生以下 500円、家族会員 無料)